


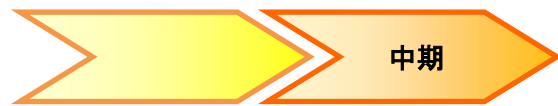

## 第4章 推進施策

前述の基本方針に基づき、それぞれの方針を推進するための施策を設定します。各施策については、概要、【具体的取組内容】、【担い手】、【実施期間】を掲載し、特に重要となる施策については【重点施策】として、第5章で詳しく掲載します。

※【担い手】は次のとおり分類します。

<b>市民</b>	○敦賀市民 ○通勤や通学などで1日の大半を敦賀で過ごす人	○NPO・市民団体	○地元企業
<b>関係団体</b>	○(社)敦賀観光協会 ○JR西日本敦賀駅 ○JA敦賀美方 等	○敦賀商工会議所 ○敦賀魚商協同組合	○港都つるが(株) ○敦賀市漁業協同組合
<b>観光事業者</b>	○宿泊事業者 ○交通関連業者	○飲食事業者 ○旅行代理店 等、これらの業種にかかわるすべての業種	○土産品業者
<b>行政</b>	○敦賀市		

※【実施期間】は次のとおりとします。

短期（H25～H26） に成果を求めるもの	
中期（H27～H30） に成果を求めるもの	
長期（H31～H34） に成果を求めるもの	

## 基本方針 1 多様な観光資源の活用と保全

### 基本施策 1 【つるがベーシック】を活かそう

※いつまでも長く愛され、心癒される敦賀の定番を未来に伝えます。

#### 1 - (1) - ① 「港と鉄道のまち」を象徴するエリアの形成

重点施策

敦賀の観光振興の大きな課題の一つは、観光客が来訪先として選択するだけのイメージ力が弱いことです。それは、他の観光都市と比較して、敦賀の観光の核となるものがないことを意味しています。

敦賀市は「港と鉄道のまち」として発展した歴史性から、関連する資源が多く残っています。このことから「港と鉄道のまち」を象徴するエリアを形成することは、本市の歴史性に根差した観光の核を築くこととなります。

そこで、現在、先行して進められている「中心市街地活性化基本計画」等と連携し、JR敦賀駅周辺エリア・中心市街地エリア・金ヶ崎周辺エリアを一体としてとらえた象徴エリアの形成に取り組みます。



実施内容は P.62

#### 1 - (1) - ② イベント・まっりの活用・見直し

行政が関与するイベント・まつりについて、開催日程や補助金等の予算状況、人的負担、効果等を検討することで、より本市の観光振興に寄与できるよう努めます。また、観光色の弱いイベントについても、広報の方法や、イベント内容の見直しにより、観光資源としての活用を図ります。


##### 【具体的戦略】

項目	内容					
具体的取組内容	○民間活力の有効活用 ○敦賀まつり事業の内容検証 ○つるが観光物産フェアの実施内容検証 ○伝統行事の観光資源としての活用検討 等					
担い手	仕掛ける主体	<b>行政</b>	担う主体	<b>関係団体</b>	協力する主体	<b>市民</b>
実施期間						

### 1 - (1) - ③ 既存観光資源の保全とブラッシュアップ

本市の観光施設・景観・文化財等について、地域住民、観光事業者との意見交換を行い、相互理解・協力しながら磨き上げていくことで、今以上に魅力あるものにしていきます。また、先行する各整備計画とも連携した事業展開を行います。

#### 【具体的戦略】

項目	内容					
具体的取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存観光施設の更新計画の策定検討</li> <li>○来訪者の視点を意識した魅力づくり</li> <li>○観光施設とあわせ買い物や飲食、休憩スペースなどを含めた周辺環境の整備</li> <li>○観光施設のバリアフリー化の検討 等</li> </ul>					
担い手	仕掛ける主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: 50px; margin: 5px auto;">関係 団体</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: 50px; margin: 5px auto;">行政</div>	担う主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: 50px; margin: 5px auto;">関係 団体</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: 50px; margin: 5px auto;">観光 事業者</div>	協力する主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: 50px; margin: 5px auto;">市民</div>
実施期間						


## 基本施策2 【バージョンアップつるが】を生み出そう

※いつもあるのに気がつかなかった、活かせなかった敦賀の魅力を掘り起こし、新しい何かを生み出します。

### 1 - (2) - ① 新しい観光資源の発掘

これまで観光資源として認識されてこなかったものを、新たな視点・発想で発掘し、観光資源への磨き上げを行います。また、一見すると観光とは関係がないと思われるものであっても、観光との結び付けを模索し、観光資源としての活用策を検討します。

#### 【具体的戦略】

項目	内容						
具体的取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民アンケート調査による地域資源の洗い出し・整理</li> <li>○市民の小さな発見を広く集約できる制度づくり</li> <li>○観光写真コンテストの開催検討</li> <li>○敦賀の産業や環境を活かしたコンベンションの誘致・開催支援</li> </ul>						
担い手	仕掛ける主体	行政	担う主体	関係団体	観光事業者	協力する主体	市民
実施期間							

### 1 - (2) - ② 産業観光・体験型観光の推進

重点施策

現在の観光の主流である着地型観光を推進する上で、その土地ならではの体験を提供する産業観光や体験型観光は欠かせません。そこで、(社)敦賀観光協会が実施する体験型観光プラン「遊敦塾」事業を、観光事業者・関連団体との連携をより深めることで拡充し、**敦賀の産業観光・体験型観光を一元化**することで、産業・体験型観光メニューの充実、観光客の利用機会の拡充を図ります。

 **実施内容は P.65**

### 1 - (2) - ③ 市内観光周遊コースの充実

重点施策

敦賀には様々な観光資源がありますが、観光資源相互を結ぶ仕組みが弱く周遊性が乏しいといった課題があります。これらの観光資源を効果的に結び付け、敦賀ならではの魅力を満喫できる、**様々なテーマ別周遊コースの開発**に取り組むことで、敦賀観光での滞在時間の延伸と地域への経済効果を図ります。



実施内容は P.68

### 1 - (2) - ④ 地域ブランドの確立・振興

重点施策

観光客にいかに消費行動を起こさせるかは、観光振興を図る上で重要な視点となります。特に観光客は、その土地ならではのモノを求めて来訪する傾向にあることから、その土地ならではの産物や商品は観光客の購買欲をかきたて、消費へとつなげる道具となります。

また、地域ブランドを確立することは、敦賀の知名度の向上やブランド商品を使用した新商品の開発など域内への波及効果も期待できます。そのため、**農林漁・工・商の連携**により敦賀ならではの産物のブランド化やブランド商品の開発に取り組み、地域ブランドの確立を図ります。



実施内容は P.71

## 基本方針 2 ホスピタリティの充実

### 基本施策 1 【つるが愛】を育てよう

※敦賀に「情熱」と「誇り」を持ち、敦賀を愛する人を育てます。

#### 2 - (1) - ① 市民のおもてなし意識の醸成

重点施策

市民のおもてなし意識の向上を図ることは、敦賀の観光振興の最大の課題とも言えます。本市では、古くは「松原客館」が置かれ、近代では「人道の港」のエピソードがあることから分かるように、かつてはおもてなし意識の高い市民性があったのではないのでしょうか。

しかしながら近年では、そのおもてなし意識も薄れ、しばしば観光客からのご指摘を受けるようなこともみられます。そのため、すべての市民に、改めて敦賀への愛情と誇りを確認していただくとともに、自分たちの誇る敦賀を選んで見に来てくれる観光客をあたたかい心、感謝の気持ちで迎え入れる雰囲気づくりに取り組みます。



実施内容は P.74

#### 2 - (1) - ② 宿泊・観光関連事業者の育成・支援

重点施策

観光客の満足度にはその土地での人とのかかわりが大きく影響します。特に観光事業者においては、観光客と直接かかわる機会が多いため、接客やサービスの善し悪しはその土地の観光の評価に大きく影響します。

観光客の満足度を高めることは、リピーターを確保するだけでなく、口コミによる新規客も期待できるため、(社)敦賀観光協会など関係機関と連携し、宿泊・観光関連事業者の育成・支援を図ります。



実施内容は P.77

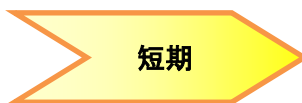
## 基本施策 2 【つるがの優しさ】を築こう

※敦賀を選んでくれたみなさんが、気づかないほど自然なおもてなしをご用意します。

### 2 - (2) - ① 情報発信拠点の充実

本市に訪れる観光客が必要とする情報を的確に、かつスピーディーに提供できる環境を整備します。また、敦賀観光のシンボルとなりえるような情報発信拠点の構築を進めます。

#### 【具体的戦略】

項目	内容					
具体的取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○敦賀駅及び主要観光施設等への情報端末等の設置による設備の充実</li> <li>○（社）敦賀観光協会の移設の検討</li> <li>○敦賀駅交流施設内の観光案内所の設置</li> </ul>					
関連施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報発信ツールの整備・更新【重点施策】</li> <li>○（社）敦賀観光協会の運営体制強化・見直し【重点施策】</li> </ul>					
担い手	仕掛ける主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">行政</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">関係団体</div>	担う主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">関係団体</div>	協力する主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">観光事業者</div>
実施期間						

### 2 - (2) - ② 交通アクセスの充実・改善

重点施策

おもてなしとは、人の対応だけではありません。観光客に不便を感じさせないことも重要となります。舞鶴若狭自動車道の延伸や、敦賀南スマートインターチェンジ（仮称）の設置により、今後、敦賀までのアクセス性は向上することが予測されます。


しかし、市内の観光地を結ぶ二次アクセスについては、利便性等の面で課題が指摘されています。交通アクセスの充実・改善は、観光客の満足度向上にとどまらず、市内の周遊性向上にも効果が期待できるため、関係機関と連携し二次アクセスの充実・改善を図ります。


実施内容は P.80

## 2 - (2) - ③ 案内板・看板の整備・充実

現在も、案内板・看板については計画的に設置しているところですが、今後は観光客の実際の声に耳を傾け、観光客の視点により整備計画を作成していくことが必要となります。また、舞鶴若狭自動車道の開通、敦賀南スマートインターチェンジ（仮称）の設置により、交通ルートの変化も予測されます。このようなことを考慮し、観光客が不便を感じないように、必要性の高い案内板・看板等の整備充実を図ります。

### 【具体的戦略】

項目	内容					
具体的取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光客の声を集める仕組みづくり（モニタリング調査）</li> <li>○現在設置されている案内板・看板の有効性の検討</li> <li>○道路案内標識の充実</li> </ul>					
関連施策	○市場調査の推進【重点施策】					
担い手	仕掛ける主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: 40px; margin: 5px auto;">観光事業者</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: 40px; margin: 5px auto;">行政</div>	担う主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: 40px; margin: 5px auto;">観光事業者</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: 40px; margin: 5px auto;">行政</div>	協力する主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: 40px; margin: 5px auto;">関係団体</div>
実施期間						



## 基本方針 3 マーケティング戦略の推進

### 基本施策 1 【つるがとは?】を考えよう

※本当に伝えたい敦賀とはどんな敦賀でしょうか？ 知っているようで実は知らない敦賀のことをもう一度見つめ直します。

#### 3 - (1) - ① 敦賀観光のコンセプトメイキング

重点施策

敦賀の観光振興の大きな課題の一つとして、観光客が来訪先として選択するだけのイメージが弱いことが挙げられます。敦賀には誇れる様々な観光資源が点在しているため、イメージが分散してしまう傾向があります。

まず、敦賀といえば「これ！」と言える具体的イメージをつくり上げ、全市民に浸透させることから取り組みます。




実施内容は P.83

#### 3 - (1) - ② イメージの定着に向けた取組の推進

市全体で、本市の観光都市としてのコンセプトを共有し、様々な構想、イベント、PR活動に至るあらゆるものにそのコンセプトを反映させていくことで、市内外にイメージの定着を図ります。

##### 【具体的戦略】

項目	内容
具体的取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>○全国ネットメディアへの企画提案・情報提供</li><li>○敦賀観光大使の創設検討</li><li>○市民参画によるプロモーション（市民サポーターや観光キャラバン※ 隊の創設、敦賀観光キャンペーン隊の活用など） ※キャラバン：ここでは宣伝・販売などのため各地をまわる一団のこと。</li><li>○プロモーションミックス※の手法を参考とした取り組み 等 ※プロモーションミックス：企業がマーケティング目標達成のために、いくつかの プロモーション方法を組み合わせて、相乗効果を狙う方法。</li></ul>

項目	内容					
担い手	仕掛ける主体	<div data-bbox="655 338 759 434">行政</div> <div data-bbox="655 456 759 553">関係団体</div>	担う主体	<div data-bbox="970 338 1074 434">関係団体</div> <div data-bbox="970 456 1074 553">観光事業者</div>	協力する主体	<div data-bbox="1268 338 1372 434">市民</div> <div data-bbox="1268 456 1372 553">行政</div>
実施期間						

### 3 - (1) - ③ 市場調査の推進

重点施策

敦賀への観光誘客と敦賀における観光客の満足度を高めていくには、観光客が何を求めているのか、敦賀の観光で評価されているものは何なのか、逆に不満点は何なのかを的確に把握し、対応していくことが必須となります。

ただし、現在でも行っているようなありきたりなアンケート調査などでは大きな効果は期待できません。そこで、関係団体と連携を図り、市民の協力を得ることで、どのような調査が必要であるのかを話し合い、ニーズに合わせたデータを採取する仕組みづくりに取り組みます。



実施内容は P.86

## 基本施策2 【つるがとは！】を伝えよう

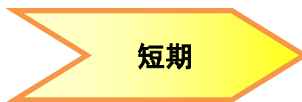
※とっておきの「敦賀らしさ」を、「いつ」「だれに」「どうやって」伝えるか、知恵を絞って考えます。

### 3 - (2) - ① 敦賀の「食」の魅力発信

一般的に『食』の持つ力は大きく、旅の目的として『食』は大きな割合を占めます。さらに『食』は、旅の途中にわざわざその地に立ち寄ろうという動機に十分なりえる存在です。

本市では、かに・ふぐ・昆布等をはじめとする海産物から、黒河マナや古田苺かぶら等の伝統野菜をはじめとする農産物など、豊かな食資源を有しています。これらの食資源の魅力を強力に発信することで、誘客につなげ、さらには舞鶴若狭自動車道開通等の交通網の整備により、本市が通過されてしまう懸念もある中、『食』がそれらを引き止める力となるよう努めます。

#### 【具体的戦略】

項目	内容					
具体的取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○敦賀の食資源を活かしたランチメニュー製作の推進</li> <li>○敦賀の特産品を使用した料理レシピの公募・B級グルメ化</li> <li>○新鮮な魚など、テーマ別の食べ歩きマップ（飲食店マップ）の作成</li> <li>○各店舗の具体的な情報を発信するための仕組みづくり</li> <li>○食イベント（グルメコンテスト、試食会など）の開催</li> </ul>					
関連施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ブランドの確立・振興【重点施策】</li> <li>○情報発信ツールの整備・更新【重点施策】</li> </ul>					
担い手	仕掛ける主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; background-color: #ccc;">関係団体</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; background-color: #ccc;">行政</div>	担う主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; background-color: #ccc;">関係団体</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; background-color: #ccc;">観光事業者</div>	協力する主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; background-color: #ccc;">市民</div>
実施期間						

### 3 - (2) - ② 情報発信ツールの整備・更新

**重点施策**

観光客は多様な手段を用いて情報の収集を行います。これまでの旅行専門雑誌やガイドブック、パンフレットに加え、インターネットが果たす役割も非常に大きなものとなっています。

特にスマートフォン※やタブレット※などの携帯端末を片手に、観光客が観光地を歩きながら情報を入手する今日、本市では観光客の求める情報を十分に提供できていない課題があります。

情報の提供は敦賀の認知度だけでなく、市内観光地の周遊性や消費にもつながるため、観光客のニーズや技術の発展に対応した情報発信ツールを整備・更新していきます。



※スマートフォン：携帯電話端末の一形態で、ウェブサイトの閲覧や電子メールの送受信といったインターネット利用、スケジュール管理、パソコンで作成された各種書類ファイルの閲覧といった機能を備え、パソコンと類似の使い方が可能なものを指す。

※タブレット：板状の機器のことで、パソコン関連では、液晶画面と本体が一体化して薄い板状になっている情報機器で、それ単体でパソコンのような情報処理能力を有する。

### 3 - (2) - ③ ターゲットに応じた情報発信

個人や小グループでの観光が主流となったことにより、観光の目的も年齢層、性別、国別等により多種多様に及んでいます。今後は、総合的なものや画一的なものではなく、ターゲットによって情報のつくり方や発信方法を変化させ、場合によっては情報の細分化や組み合わせを行うことによって、より効果的な情報発信を図ります。

#### 【具体的戦略】

項目	内容					
具体的取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マスメディア（テレビ・ラジオ・新聞）の有効活用</li> <li>○雑誌等への掲載頻度・内容の充実</li> <li>○ICT（情報通信技術）を活用した情報発信</li> <li>○観光パンフレットの充実</li> <li>○モニタリング調査（観光マーケティング調査）結果を活用したターゲットの情報受信手段を意識した発信方法・内容の検討</li> </ul>					
関連施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市場調査の推進【重点施策】</li> <li>○情報発信ツールの整備・更新【重点施策】</li> </ul>					
担い手	仕掛ける主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">行政</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">関係団体</div>	担う主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">関係団体</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">観光事業者</div>	協力する主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">行政</div>
実施期間						

## 基本方針 4 観光振興の推進体制の強化

### 基本施策 1 【それぞれのつるが】を語り合おう

※立場が変わればそれぞれの思いがあります。みんなが思う敦賀を語り合い、一緒に考えつ  
くっていきます。

#### 4 - (1) - ① インバウンド観光の推進

現在、観光庁においては、訪日外国人旅行客数 3,000 万人を目標とした『ビジット・ジャパ  
ン事業』により、様々な海外プロモーションを展開しています。また、福井県においても、『新・  
ビジットふくい推進計画』の中で、平成 25 年度までに外国人観光客（宿泊客数）10 万人を掲  
げ、外国人旅行客の誘致に力を入れて取り組んでいます。このような状況の中、本市におい  
ても、港の利用を含めたインバウンド観光の推進に取り組んでいきます。

#### 【具体的戦略】

項目	内容					
具体的取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○『人道の港』のエピソードの有効活用</li> <li>○外国語対応案内板等のハード、外国人対応のおもてなし教育等のソフト両面での受け入れ体制の整備</li> <li>○多言語版ホームページ等の作製（外国からのインターネット検索にも対応できる仕組みづくり）</li> <li>○両替や、キャッシュサービス等のサービスシステムの構築</li> <li>○東アジアから東南アジアを中心とした誘客</li> </ul>					
関連施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○案内板・看板の整備・充実</li> <li>○市場調査の推進【重点施策】</li> <li>○情報発信ツールの整備・更新【重点施策】</li> </ul>					
担い手	仕掛ける主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">行政</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">関係団体</div>	担う主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">関係団体</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">観光事業者</div>	協力する主体	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">行政</div>
実施期間						

#### 4 - (1) - ②

#### (社) 敦賀観光協会の運営体制強化・見直し

重点施策

今後、敦賀の観光振興及び計画の推進を図っていくには多くの観光事業者や関係機関、団体との協働が必要となっています。特に、直接観光客と接する民の取り組みは最も大きなものとなります。

それらを連携・コーディネート※していく役割として位置付けられるのが本市の観光事業推進の中心となる(社)敦賀市観光協会です。本市の観光振興の要としてより自由度の高い事業展開ができるよう自主財源の確保を主眼においた、運営体制の強化・見直しを図ります。



実施内容は P.91

※コーディネート：各部を調整し、全体をまとめること。

#### 4 - (1) - ③

#### 官民の連携体制の確立

重点施策

敦賀の観光振興及び計画の推進を図っていくには、多くの観光事業者や関係機関、団体との協働が必要となっています。しかし、これら関係者はそれぞれに立場も意見も異なります。

そこで、敦賀観光の将来を見据え、イメージや方針などを共有する場、また、一緒に敦賀の観光について考えていく場を設けるなど、官民の連携体制を確立していきます。



実施内容は P.93

## 基本施策 2 【つるがの仲間】と繋がろう






※敦賀にない素晴らしい素材を持った仲間たちと、お互いを活かしあえる関係を築きます。

### 4 - (2) - ① 観光地域づくりプラットフォーム形成への取組

関西・中京方面からの北陸の玄関口である本市の特徴を活かし、さらに北陸新幹線敦賀開業による関東方面からの観光客の取り込みを図るため、広域観光圏、特に嶺南地域における観光地域づくりプラットフォーム※組織の形成を検討します。

※観光地域づくりプラットフォーム：着地型旅行商品の販売を行うため、広域観光圏内の着地型旅行商品の提供者と市場（旅行会社、旅行者）をつなぐワンストップ窓口としての機能を担う事業体。





#### 【具体的戦略】

項目	内容					
具体的取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○嶺南地域観光圏一体の情報集約の仕組みづくり</li> <li>○嶺南地域観光圏内の自治体・観光事業者の協力体制の確立</li> <li>○観光地域づくりプラットフォーム支援事業（観光庁）の活用</li> </ul>					
担い手	仕掛ける主体		担う主体	 	協力する主体	
実施期間						

### 4 - (2) - ② 広域観光振興事業の推進

嶺南地域や滋賀県湖北地域をはじめとする近隣地域との相互連携により広域観光圏を形成し、相互補完・相乗効果による観光振興事業の推進を図ります。

【具体的戦略】

項目	内容					
具体的取組内容	○二州地域（美浜町・若狭町）との連携強化 ○滋賀県長浜市・高島市との県境を越えた連携強化 ○他地域との相互補完、関連性の結び付けによるプロモーション力・集客力等の強化					
担い手	仕掛ける主体		担う主体	 	協力する主体	
実施期間	